



互いの学校の健闘を祈り合ったエール交換会
=29日、八戸市庁前市民広場

6月2日から主会期となる青森県高校総体体育大会



健闘祈り熱い応援

八戸で4年ぶりエール交換会

に向け、三八地区の高校応援団とチアリーディングによるエール交換会が29日、八戸市庁前市民広場で開かれた。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの開催。自校の活躍のために士気を高めるとともに、互いの学校の健闘を祈って応援し合った。

【8ページに大会詳報】応援団活動を知ってもらうことを目的に、40年以上前から開催。2020年から3回連続中止となったが、今年は八戸、八戸東、八戸工、八戸聖ウルスラ、八戸学院光星、八工大一、八工大二、千葉の計8校から約130人が参加した。

新型コロナウイルスによる活動制限が緩和されたことから、生徒たちはマスクを外し、それぞれの学校オリジナルの演舞を堂々と披露。市民らも駆け付け、高校生の迫力ある応援に拍手を送っていた。

八戸高応援団団長の工藤恵輝さん(17)は「県高総体には多くの学校が参加する。八高応援団を知らしめられるよう、全力で声を出すと意気込みを語った。」

(文、写真とも才神利奈)